

令和6年度第1回「岐阜県男女共同参画二十一世紀審議会」議事要旨

日 時	令和6年7月22日（月）10:00～11:10
場 所	県庁舎議会棟 2階 第2会議室②（ZoomによるWeb会議併用）
出席委員	岩佐委員、太田委員、川尻委員、木村委員、杉山委員、田村委員、戸川委員、丹羽委員、布俣委員、林委員、坂委員、松岡委員（以上、12名）
欠席委員	石樽委員、佐藤委員、吉田委員（以上、3名）
県（事務局）	堀子ども・女性局長、山下同副局長、笠井男女共同参画・女性の活躍推進課長、大野同課男女共同参画推進監、成瀬男女共同参画・女性の活躍支援センター長、堀場子育て支援課長、大野子ども家庭課長 ほか

会 議 の 概 要

<p>2 議題（1）会長の選出及び副会長の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互選により、杉山委員が会長に選任された。 ・会長より、田村委員が副会長に指名された。 	
<p>2 議題（2）部会長（員）の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長より、表彰選考部会には、杉山会長（部会長）、川尻委員、丹羽委員、坂委員、吉田委員が指名された。 ・会長より、苦情処理検討部会には、田村副会長（部会長）、岩佐委員、松岡委員が指名された。なお、苦情の内容によっては、その都度追加で委員を指名することとされた。 	
<p>2 議題（3）令和5年度の事業実績について</p> <p>（4）岐阜県男女共同参画計画（第5次）について</p> <p>（5）岐阜県配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等並びに困難な問題を抱える女性への支援のための基本計画について</p> <p>（6）令和6年度の主な事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料に沿って説明した。 <p>（意見交換）</p>	
布俣委員	ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業について、認定企業も相当数増えているという認識であるが、県内の認定企業数は。また、エクセレント企業に認定された企業はどのように男女共同参画の観点で進化しているか。
笠井課長	平成23年度からワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の制度を開始し、現在198の企業が認定されている。エクセレント企業に認定された後も、社会保険労務士の方と4年ごとに国の動向等を踏まえた審査基準により企業における取組内容を確認しており、認定後もすべての企業が進化しているといえる。
布俣委員	企業内の改革が特に重要。男女ともに活躍できる仕組みづくりの、より一層の推進を期待する。

太田委員	男女共同参画・女性の活躍支援センターの相談件数が減少した理由として、「リピーターからの相談が減少した」とはどういうことか。
成瀬センター長	同じ方が何度も相談される事例が減ったため、全体の件数が減少した。
杉山会長	相談員のスキルが蓄積され、より効果的な相談が出来るようになったという理解である。
川尻委員	女性管理職登用拡大支援事業について、訪問コンサルティング等は募集をかけて実施したのか、訪問企業を決めて実施したのか。
笠井課長	岐阜県の女性管理職の割合が全国と比較して少ないという問題意識の中、令和5年度から開始した事業である。社会保険労務士事務所に委託し、女性活躍推進に取り組みたい中小企業から広く募集をして実施している。
坂委員	理系の大学等に関して、年々入校者が減少していると聞く。様々な理系の関係機関を巻き込んで、理系女子を増やしていただきたい。岐阜県は製造業が盛んな地域であり、製造業や理系以外での採用が少なく、県外へ流出している若い世代が多いと思う。女子中高生に理系や製造現場に興味を持っていただき、県内で定着してもらえるとよい。
林委員	<p>科学技術・学術分野における男女共同参画の推進をするためには、文理選択で理系を選択しなければならないため、中学生や高校1年生を対象に事業を実施しなければならない。工業高校に女子枠を作るのも選択肢の一つである。</p> <p>県内定着に向けた地域の魅力づくりについて、岐阜県の労働者人口は25%程が製造業であるが、若者は大企業や優良企業への就職を目指し、製造業はあまり好まれていない。産業構造を変えない限り、若者の定着は難しいと感じる。</p> <p>県内に呼び込むための受け皿づくりに関して、UIターン促進より、多治見市や岐阜市等で名古屋へ通勤する方を呼び込んでベッドタウン化を進めると効果的ではないか。</p>
笠井課長	<p>文理選択で理系を望む学生が増えるよう、岐阜大学と共同で、女子中高生が理系に接する機会を増やすための取組を実施している。また県では、中学生を中心に、岐阜大学の女性研究者の講座等、県内で活躍している理系の女性を身近に感じていただけるような機会を設けている。</p> <p>若者に選ばれる地域づくりの観点では、ご指摘のとおり岐阜県では製造業の割合が多いため、企業誘致等、他の業種を呼び込む取組も行っている。また、ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定制度のような、仕事も家庭も両立できる企業を推進する取組も実施し、若者にも魅力を感じていただけるような地域づくりを推進していきたい。</p>
田村副会長	理系分野に女性が参画し、多様性を高めていくことは非常に重要であるが、併せて男性が家事・育児・介護等、今まで女性が主体であった分野に参画することで男女共同参画社会が実現すると思う。今後の施策や考えはあるか。

笠井課長	令和6年度から、新規事業として「企業と家庭におけるワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン」を実施する。企業向けのワーク・ライフ・バランス推進については、4業種程に分類し、講座や勉強会を開催する予定。家庭向けについては、見えない家事をWeb等で簡単に確認できるような、気づきを促す取組を考えている。
田村副会長	男性が家事・育児・介護に携わる環境をつくることが大事。次のステップとして、介護職、保育職などに男性が参画することで男女共同参画社会の実現を目指していただきたい。
丹羽委員	令和5年度事業実績や令和6年度の主な事業について、幅広く一般県民に知っていただく必要があるのではないかと。ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業についても、浸透してきたとは思いますが、まだ知らない方もいる。情報展開に力を入れていただけると良い。 理系女子を増やすという観点では、近年、学校制服が選択制になる等、若い世代は「男女」という概念がなくなっていくと思うため、今後の若い世代に期待したい。
笠井課長	広く県民へ伝えるために様々な広報はしているが、十分に行き届いていないことは実感している。様々な媒体の活用や皆様のお知恵をお借りし、浸透させていきたいと考えている。
松岡委員	共同親権に関する法案が2年以内に施行される見込み。施行された際には混乱が起こるだろうと予測されており、相談件数の増加や、相談機関までたどり着けない方が増えることを心配している。今後の相談体制の在り方について、備えていただきたい。
大野課長	共同親権に関する法改正に対し、まだ国から具体的な制度等をどう施行していくか情報提供がされていないため、情報収集しつつ相談体制等の検討を進めていきたい。 県の相談体制としては、子ども相談センター、女性相談支援センター、ひとり親家庭等就業・自立支援センター等があるため、相談を受ける側のスキルアップや、ワンストップで案内できるような体制を整えていきたい。
布俣委員	DV予防教育の受講者数の目標数値を15,000人としており、危機感を感じているとお見受けするが、具体的な啓発方法は。
大野委員	若者世代にDVの被害者にも加害者にもならないよう啓発するため、中学校や高校等に有識者を講師として派遣し、DVに関する具体的な講義を行っていただいている。現状10,089人であるが、更なる拡大を図りたく、15,000人という目標設定にした。
<p>3 その他 岐阜県こども計画（仮称）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料に沿って説明した。 <p>（意見交換）</p>	

木村委員	<p>2024 年秋から、従業員数 51 人以上の社会保険加入者がいる企業は 106 万円で社会保険に加入しなければならず、また、企業規模の要件が撤廃されることがほぼ決まっており、扶養の壁が 130 万円から下がっていく状況が予測され、共働きが加速されるかと思う。産後パパ育休が施行されてから、男性育児休業の取得率が一気に上がったり、2020 年の働き方改革以降、労働時間 60 時間超えの労働者の数がかかり下がったり、労働関係の法律は数値に影響しやすい。今回の年金制度改革は、女性の正規職員の数を押し上げていくのではないか。そのような情勢の中で、家庭内で男女がどのように役割分担していくかが問題となる。「家庭留学」のような事業で、若者に家事や子育てに興味を持ってもらえると良い。</p>
田村副会長	<p>こども計画の策定に関して、本審議会はどのように関わっていけばよいか。他にも有識者による検討会を開催するのか。</p>
堀場課長	<p>基本的には、子どもや子育てに関する有識者会議を開催し、その会議を中心に計画策定を進めていく。また、昨年度から、子どもや若者、子育て世帯等、幅広く意見を聴取しており、現在 6,000 件ほどご意見をいただいているところである。こども計画とも関連する男女共同参画の分野を扱う本審議会におかれても、それぞれのお立場からご意見をいただき、計画に反映したいと考えている。</p>